



民主党プレス民主編集部

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
URL http://www.dpj.or.jp メールpress@dpj.or.jp

連絡先：民主党千葉県10区総支部
〒287-0001
住所：千葉県香取市佐原口2164-2
電話：0478-54-5678 FAX:0478-52-6991

号外

成田版

谷田川はじめ代議士は、初当選以来、この3年3ヶ月「成田空港の発展なくして、当地域の発展はない」との信念のもと、成田空港問題について、一番多くの時間を割いてきました。その活動ぶりを特集しました。

民主党政権も強力に 成田空港を後押し!

「成田空港は、地元の谷田川代議士が一生懸命取り組んでいる」と野田総理



野田総理の左から夏目社長、深谷副社長、小堀前副社長、野田総理の右側、谷田川代議士、森中前社長



谷田川はじめ 地元のために体当り!

facebook フェイスブック始めました!

【谷田川はじめプロフィール】

昭和38年	1月17日香取市に生まれる
56年	千葉県立佐原高校卒業
60年	早稲田大学政治経済学部卒業
同年	丸紅(株)入社
63年	(財)松下政経塾入塾
	在塾中、米国連邦下院議員政策スタッフとして活動
平成3年	衆議院議員 山村新治部秘書
5年	千葉県議会議員 初当選
	以後4期連続当選
21年	3度目の挑戦で衆議院議員 初当選
【役歴】	拉致問題特別委員会理事
	国土交通委員会委員
	外務委員会委員
	東日本大震災復興特別委員会委員
	民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長
	千葉県ハンドボール協会会長



野田総理と会談する夏目社長
野田総理の右側が谷田川代議士

去る7月30日、成田空港株新旧社長、副社長と野田総理との面会が実現。

民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長である谷田川代議士が強く働きかけた結果です。新しく就任した夏目誠社長は、「これまでJRに勤務し、駅ナカビジネスを展開してきた。その経験を生かしたい。」と抱負を述べられました。

野田総理は、「成田空港は地元の谷田川代議士が一生懸命取り組んでいる」と述べ、総理の地元千葉県にある空港への思い入れを示しました。

成田空港ハブ化推進議員連盟発足!

3年前の政権交代直後、前原国交大臣が羽田空港を国際線のハブ空港にする発言。成田空港の重要性が置き去りにされてしまうと危機感を抱いた谷田川代議士は、民主党内に成田空港を応援する議員連盟をつくることを決意。平成22年3月31日に安住淳衆院議員(現民主党幹事長代理)を会長とする「成田空港ハブ化推進議員連盟」が発足しました。民主党の規約では、政府三役に就任した場合議員連盟の役員にはなれないため、会長は安住氏から長浜博行参院議員(現環境大臣)へ、さらには長浜氏から大畠章宏衆院議員(元国土交通大臣)へと交替しましたが、議員連盟に入会した議員は、56名に達し、民主党内に一定の勢力を確保することができました。

【第1回】平成22年3月31日

民主党成田空港ハブ化推進議員連盟総会
会長 安住 淳氏就任

地元の小泉市長も出席し、「成田ハブ議連の設立は大変心強い。成田をより競争力ある空港にするためご支援を強くお願いする」と挨拶しました。



左から小泉成田市長、谷田川事務局長渡部副顧問(中央)安住会長(右)

【第2回】平成23年11月25日

民主党成田空港ハブ化推進議員連盟総会
会長 長浜 博行氏(現環境大臣)就任

成田空港株特別顧問の黒野匡彦氏が、「首都圏空港の現状と課題」と題して講演しました。



【第3回】平成23年12月7日

民主党成田空港ハブ化推進議員連盟総会
会長 大畠 章宏氏



平成24年の成田空港でのLCCの本格就航を目前に控え、ジェットスター・ジャパンとエア・ジャパンの両社長をお招きし、話を聞きました。日本は他国と比べて空港関連コスト(着陸料、ターミナル使用料、保安料等)が高いことが浮き彫りとなりました。

国土交通委員会での質問

谷田川代議士は、初当選以来国土交通委員会に所属し、6回質問に立ちました。そして、できるだけ航空政策に関する問題を取り上げてきました。要約したものを紹介します。

成田空港と羽田空港について

《平成22年9月10日国土交通委員会》

【谷田川】羽田の4本目の滑走路は千葉県の全面的協力があつたからできたこと認識しているか?

【前原大臣】千葉県の協力なくして達成できませんでした。

【谷田川】羽田の国際線を増やす場合は、千葉県とも十分協議する必要があると思うがどうか?

【前原大臣】これからも、森田知事はじめ地元の皆さんとしっかりと相談させてもらいます。

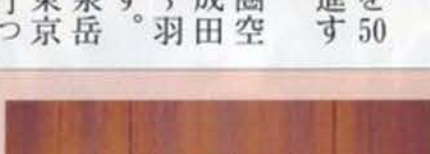
【谷田川】成田と羽田間を50分台で結ぶ高速鉄道を推進すべきだ。

【前原大臣】日本の首都圏空港の兄貴分はこれからも成田であり続けるので、成田と羽田間のアクセスは重要です。

【戸崎早稲田大学教授】成功は素直に認めて学ばなければと思う。

【谷田川】日航の再生は、当時の前原国交大臣が、京セラの稲盛氏を会長として迎えたことが大きかったと思うがどうか?

【大西日航会長】まったくその通りです。稲盛会長には貴重なご指導を頂きました。



前原大臣に質問する谷田川はじめ



質問に答える前原大臣

日本航空再生問題

《平成24年8月7日国土交通委員会》

【谷田川】自民党は日航の再上場を反対しているが、再上場の方針に変更ないか?

【羽田大臣】方針に変更はありません。

【谷田川】昨年8月に再生計画を日航が2か月遅れで裁判所に提出した際には、二次破綻必至だと断言した野党議員もいた。今度は、再生支援機構の出資3千5百億円あれば、再建はできて当たり前。手のひらを返したような議論がなされているが、どう思うか?

【谷田川】日航の再生は、当時の前原国交大臣が、京セラの稲盛氏を会長として迎えたことが大きかったと思うがどうか?

【大西日航会長】まったくその通りです。稲盛会長には貴重なご指導を頂きました。



参考人に質問する谷田川代議士



質問に答える羽田国土交通大臣

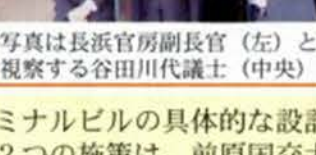
前原国交大臣成長戦略の成果(民主党ハブ化推進議員連盟が後押し)

成田空港株は、3月31日から首都圏初のビジネスジェット専用ターミナルの運用を開始。

また、同社は4月5日に、LCC専用ターミナル建設を発表。

2012年度は専用ターミナルの具体的な設計や準備工事に着手し、2014年度中の完成を目指しています。これら2つの施策は、前原国交大臣の下、策定された国土交通省成長戦略の中に盛り込まれたもので、民主党政権がもたらした果実と言えます。

LCC専用ターミナル建設へ2014年開業めざす



写真は長浜官房副長官(左)と視察する谷田川代議士(中央)

圏央道全線開通に向けて! 国交省に陳情

茨城県境〜大栄間は、平成24年度開通目標でしたが、1年程遅れています。相続がらみの土地があり、土地買収が難航しているからです。一部に圏央道開通の遅れは民主党政権のせいにする人がいますが、これは間違いです。少なくとも千葉県区間の工事費の予算は、前政権下よりも増加しています。確かに公共事業予算は現政権下で削減されましたが、それは不要不急の事業を削った結果で、圏央道はとて重要な道路と位置付けられ、早期完成に向けて拍車をかけています。

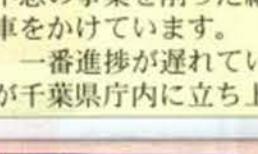


羽田国交大臣に圏央道が早期に開通するよう要望。谷田川代議士(左)と森田千葉県知事(右中央)



若井国交事務官の左隣は谷田川代議士、右隣は小泉成田市長

一番進捗が遅れている大栄〜横芝間は土地買収がスムーズにいくためのプロジェクトチームが千葉県庁内に立ち上がり、早期開通に向けて動き出しています。



小泉成田市長の挨拶
(谷田川はじめとともに雄志を抱く会にて)

「谷田川代議士には、成田国際空港を応援してくれる大変ありがたい議員連盟を立ち上げて頂きました。また国土交通委員会委員として、羽田の4本目の滑走路から離着する飛行機のほとんどが千葉県上を飛ばすこと、そして滑走路の埋め立て土砂が、すべて千葉県から持ち込まれている。あるいは漁業権補償、これは千葉県が前面に出てやっている。もうすべて千葉県におんぶに抱っこであります。これを当時の前原大臣にしっかりと担保を取って頂きました。やはり谷田川代議士のそういった政治のツボの心得、あるいは押さえどころ、これはまさに山村代議士から受け継いだもの、あるいは県議時代に培ったものであります。まさに持って生まれた、私は政治の天才かと思っている次第です。そして今後とも谷田川代議士を頼りにし、そして谷田川代議士におかれましては国政の場において大きく羽ばたいて頂きたいと強く願っております。」